

## NHKアメリカ総局の別府記者が 「ボーン・上田記念国際記者賞」を受賞

NHKアメリカ総局(ニューヨーク)の別府正一郎記者が、2007年度「ボーン・上田記念国際記者賞」を授与されることになりました。

別府記者は、中東、アフリカなど、日本のメディアによる報道が手薄な地域・問題の取材に積極的に取り組んだ一連の報道姿勢が評価されました。カイロ支局在籍中は、セネガルから欧州への密航船のルポや、シリアのアサド大統領との単独インタビューなどを伝えたほか、戦争下のイラクをはじめ、スーダン、ソマリアなどアフリカの紛争地帯を独自に取材、報道しました。2003年8月のバグダッド国連事務所爆破テロ事件では現場に居合わせ、その報道が国際的に注目されました。アメリカ総局への異動後も、国連を足場に、ハイチの平和維持軍の課題、ペルー地震被災地の水不足問題、南極の温暖化問題などをレポートしました。

今回の受賞について、別府記者は、「イラクをはじめ、アフリカや中東など、途上国を中心に各地の紛争地を訪ねて取材を続けてきました。空爆された町や劣悪な環境の難民キャンプなど、壮絶な現実を前に、言葉を失い、立ちすくんでしまうこともありました。取材は、多くの仲間を支えられたもので、あらためて感謝しています。今後も、戦争とは何かを考えながら、世界の現実と、そこに生きる人々の姿を取材していきたいと考えています」と述べています。

### 受賞者：

NHKアメリカ総局 別府正一郎(べっぴん・しょういちろう)記者

### 別府正一郎記者の略歴：

1970年4月生まれ、大阪府出身、37歳

京都大学法学部、フランス国立社会科学高等研究院大学院 卒業

1994年 NHK入局、奈良放送局

1999年 報道局国際部

2003年 カイロ支局

2007年6月 アメリカ総局(ニューヨーク)

### **ボーン・上田記念国際記者賞とは：**

国際報道活動を通じ、国際理解の促進に顕著な貢献のあった日本新聞協会加盟社およびその関係社の個人を対象とする年次賞。1949年に東京湾で事故死したマイルズ・W・ボーン元UP通信社（後のUPI）副社長と上田碩三元電通社長の功績を顕彰して1950年に設けられた賞で、国際報道に優れた成果をあげた記者個人に贈られます。贈賞式は毎年3月に行なわれ、受賞者には記念品と賞状額、副賞（30万円）が贈られます。

NHKからは、昭和41年度に豊原兼一氏、昭和44年度に村野賢哉氏、1978年度に磯村尚徳氏、1984年度に柳田邦男氏、1987年度に木村太郎氏、1990年度に平山健太郎氏が受賞しています。